

景況レポート

(8月分・情報連絡員80名)

業界全体の景況感が3ヶ月ぶりに改善

【概況(全体)】

8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが13.8%(前回調査7.5%)、「悪化」が36.3%(同38.8%)で、業界全体のDI値は-22.5となり、前月調査と比較し8.8ポイント上回り、景況感は3ヶ月ぶりに改善した。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は依然として大幅に上回っており、非製造についても建設業・運輸業などが好調に推移したことにより改善し、全体の景況DI値を押し上げた。

【業界別の状況】

業界別では、繊維工業が季節製品の受注の増加等により業況が改善したほか、サービス業、建設業、運輸業でも回復傾向が見られた。一方、食料品では、猛暑の影響から業況は低調に推移した。なお、全体の景況感としては、依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感出来ない状況が続いており、また国内消費の減退と円高・デフレ動向も改善する兆しが見えないことから、引き続き中小企業の先行きは注視していく必要がある。

＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-22.5	-30.0	-25.4
製 造 業	-18.8	-30.4	-23.3
非製造業	-25.0	-29.6	-26.6

＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

【凡例】

快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 くもり △10以上 △30超 10未満
 雨 △30以下
 雷雨 △30以下

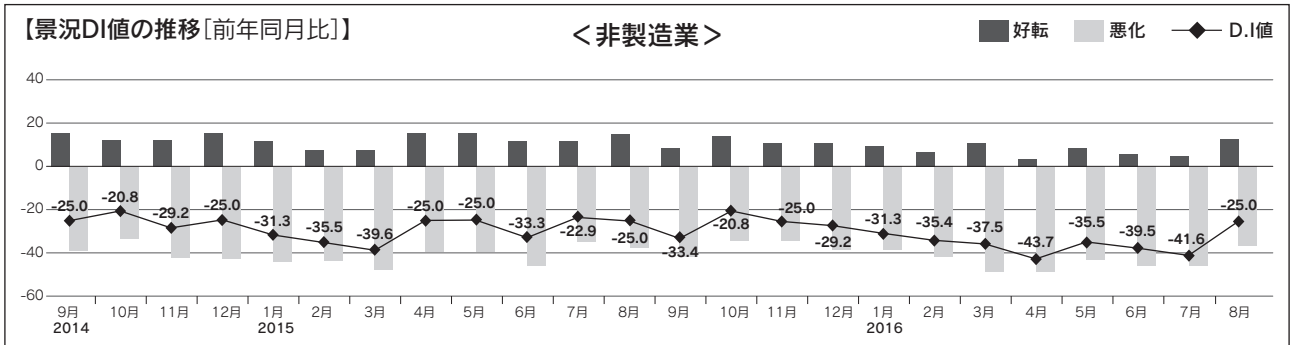
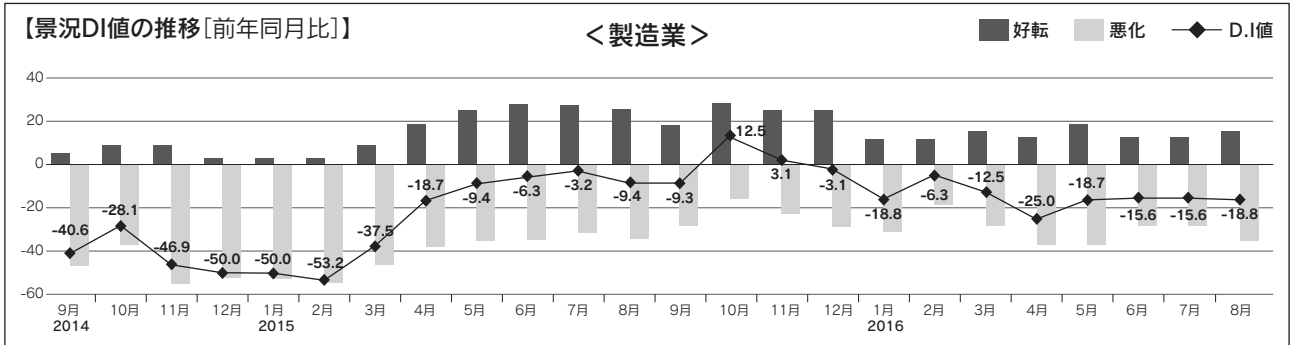
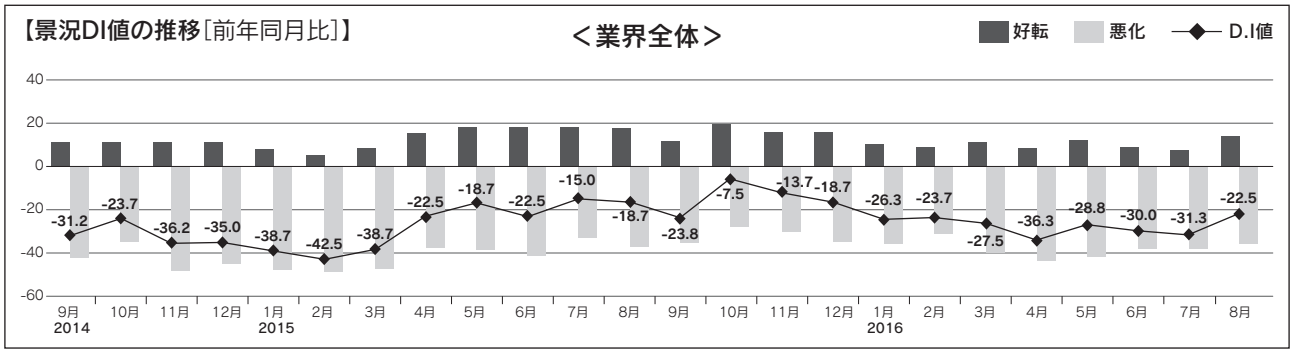
【天気図の見方】
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (菓子)	お盆の帰省や竿灯祭りなどの開催により、土産品などの売上があった。しかし、夏場は菓子業界にとって客離れの傾向があり、依然として景気は低迷している。
繊維工業 (ニット)	秋冬物の受注が順調に推移している。新規の問い合わせが多いが、求人難のためキャパシティを増やせず新規取引を見送ることが多い状況である。
繊維工業 (繊維)	全体的に、秋冬物製品の動きが良くなってきている状況にある。(県南地区)
木材・木製品 (一般製材)	7月～8月の売上高は、前年と同額で推移している。製品販売価格の引き下げ要請が強く、景気回復の気配は感じられない。(中央地区)
木材・木製品 (素材生産)	4月の秋田プライウッド向浜第二工場の火災の影響が一段落したことや、向浜のバイオマス発電所が本格稼働したことから原木の消費は進んでいるが、前月同様に在庫が多い状況にあり、生産量、価格ともに横ばいで推移している。
印刷	仕事の件数や単価の下落により、景況が良くないことに変わりはない。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	8月の出荷数量は、前年同月比83.1%、4～8月の累計では前年比88.3%となった。昨年度、過去最低の数量(647,736m ³)となったが、今年度は想定数量(642,000m ³ ・前年比99.1%)を更に下回り、580,000m ³ (前年実績比89.5%)前後の厳しい数量が予想される。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	8月は各組合員企業とも生産性が高く、今後も受注物件が確保されている。なお、稼働率も高水準で推移している。
一般機器 (金属加工)	業況は、総じて活発に推移しており、前年度を上回る売上を計上している企業が多く見られる。しかし、価格や納期等の取引条件は、依然として厳しい状況である。
その他の製造業 (漆器)	8月6日～8日、湯沢市の七夕祭りに併せ、企画展「秋田県のこけし展」を開催したところ、こけしブームでもあり、来館者が多く売上も増加した。8月14日には商工会青年部と共同で恒例の「蔵出し市」を開催し、子供向けの企画などで家族連れの集客を図ったが、思ったより人出が少なかった。一方、お盆休みや西馬音内盆踊り、大曲の花火の見学者が立ち寄り工芸館の売上は昨年より増加した。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (青果卸) 8月の売上は、前年同月比90.9%で推移した。野菜の生産地によっては、高温のため水不足であったり、集中的豪雨により壊滅的な被害を受けているところもあり、野菜不足や価格の高騰に繋がっている。

小売業 (共同店舗) 8月は、前年同月比で売上、客数ともにそれぞれ16%減少した。各部門別の売上も総じて減少となり、厳しい状況となった。(能代市)

小売業 (電機) 全体ではほぼ前年並みの売上となったが、猛暑の影響からエアコンの売上が好調であった。

商店街 8月はイベント等の開催により、売上が若干増加した組合員店舗もあったが、総体的に収益は減少傾向にある。(秋田市)

夏のセールが終了し、昨年度と比較し人数・抽選本数がそれぞれ増加した。景気回復を実感している加盟店はないが、多少でも販売促進として効果をもたらしている。(大館市)

サービス業 (自動車整備) 8月の自動車検査台数実績は、前年同月比で登録車が8.3%、軽自動車が11.5%それぞれ増加し、全体で9.6%増加となった。整備比率をみると、登録車が59.41%、軽自動車が40.59%と、4月期と比べ登録車が4.6%上回り、若干ではあるが回復傾向にある。

建設業 (電気工事) 連日の猛暑により、エアコンの需要が多かったため、例年になく多忙となった。新築住宅や増改築は前年並みに推移している。(秋田市)

運輸業 (トラック) 8月の貨物状況は回復してきており、売上は前月、前年同月比ともに増加傾向にある。収益状況も前月、前年同月比ともに約10%増加している。燃料価格は、現在は安値のため好調だが、9月は値上げの見込みとなっている。(県南地区)

その他の非製造業 (砂利採取) 繁忙期を迎え、公共工事等の発注が多くなっているが、リサイクル材の使用が多いため路盤材等は依然として鈍い状況である。(県南地区)